令和７年度　第4回藤沢市市民活動推進委員会　議事概要

１　日　　時

２０２５年（令和７年）７月５日（土）午後１時

２　場　　所

藤沢市役所　本庁舎５階５－１会議室

３　出 席 者

（１）委　員　１２人

山岡委員長、坂井副委員長、大高委員、大場委員、鍛地委員、永山委員、新實委員、西村委員、笛木委員、細沼委員、水戸委員、森田委員

（２）プレゼンテーション参加団体　１０団体

nico 川名・湘南食育 WAVE・湘南太鼓研究会えの・湘南大道芸・Team F（チームエフ)・BOOK で「食と学び」のコミュニティをつくる会ー”おいしいサステナ文庫”でつながろうー・長後アクティブシニアーズ・おとあそび楽団・藤沢市せっけん推進協議会・湘南とアジアの若者による未来創造事業実行委員会

（３）事務局　５人

黒澤主幹、二宮課長補佐、緒方上級主査、伊佐治専任主査、土倉職員

（４）その他

中山副市長

傍聴者　１０人

４　議 題 等

令和７年度ミライカナエル活動サポート事業　プレゼンテーション審査（スタート支援コース・ステップアップ支援コース）

（１）プレゼンテーション（公開）

（２）審査選考（非公開）

５　概　　要

〇開会

〇委員長が開会を発声。事務局から、委員会成立の報告が行われた後、中山副市長の挨拶が行われた。

〇事務局から資料確認及び進行等の説明、委員の紹介が行われた。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

（１）プレゼンテーション

①nico 川名

〇nico 川名から、申請事業「nico 川名」について、発表が行われた。

〇質疑応答（主な質疑応答の発言要旨）

（委員）既に活動をされており場所が機能していて、これから始められる土台ができていると感じた。この活動は素晴らしいと思うが、冒頭で学童保育の申請が不承認を経験されお困りだと説明があったが、どのような理由で不承認にいたったのか？

（nico 川名）小学校が駅から近く、コロナ禍前頃から大型マンションが多く建ち始め児童数が年々増え、学童の定員がオーバーしてしまい、１年生では入れたが２年生からは入れず不承認になった。親が共働きであっても就労時間の長短に関係なく前は入れたが、どんな条件でも入れない形になっている。

（委員）そもそもキャパシティが足りてないということか？

（nico 川名）そうです。

（委員）この活動は、学童とはまた別の性質の居場所をつくるという理解でよいか？

(nico 川名)そうです。学童は親の就労や育休といった条件があるが、そうでない子たちでも来られる居場所にしたいと始めている。

（委員）非常に内容が良いと思う。昨年から活動をしているとのことだが、昨年１年通して困ったことや課題、今後改善したいという何か課題点がもしあれば挙げて頂きたい。

（nico 川名）課題は、見守りの大人の数が少ないことで、ボランティアを募ったりはしているがなかなか集まらない。それは無償ということでハードルが高いのかと感じている。来る子たちは楽しんで帰っている実感はあるが、来てくれる子たちは限られてしまっているので、本当は困っている家庭はあると思うが、そこまでの周知が届いてないと１年間活動を通して感じている。

（nico 川名）周知には、インスタグラムと地域のポスターという子どもたちの目に留

まりやすいというのもそうだが、親御さんに向けての信頼獲得というところでホームページも考えているが、人もそうだが、お金というところもあるので、バランスを取りながらできる範囲で、今回いただいたらそこにも足がかりとしてとも考えている。

（委員）学童にも行っている子もこの居場所に実際に来ているのか、それをいいとしているのか実態を伺いたい。

（nico 川名）学童に行ってるお子さんも来ることがあり、それは少人数であって、開けてる時間も保護者の就労が例えば６時で、学童だと６時以降まで預かれるが、その前に私達は早めに閉めてしまうが、その後帰宅したり、そのまま友達と公園で遊んだりということもあるので、割と自由に誰でも来ていい居場所にしている。

（委員）誰でもということだが、不登校の子も行ってもいいということか？

（nico 川名）私達が実施している間であれば、不登校の子も来ていいし、学校に通ってる子も来ていい、幼児から大人までどなたでも来ていい場所という形で行っている。

（団体入れ替え）

②湘南食育 WAVE

〇湘南食育ＷＡＶＥから、申請事業「保育園食育事業プロジェクト」について、発表が行われた。

〇質疑応答（主な質疑応答の発言要旨）

（委員）私も食育は大切と思っている。目指す効果の数値はいつまでに、というところをお聞きしたい。もう一つ、今回保育園にということだが、藤沢市では小学校でも食育の授業は行われていて地元の店や農家さんと繋がり、給食も全部ではないが藤沢産の食材をかなりの量使っているとお聞きした。それでもやはり保育園で行いたいのはどういうところかお聞ききしたい。

（湘南食育 WAVE）アンケートの数値的目標は、今年度を一旦区切りとしてそこで数値的なアンケートを取っていきたい。後者の話は、小学校は藤沢産の野菜を取り入れたりして結構活動している印象があるが、保育園は意外と、実は業者さんがいて、もう

決まってるから地域のはいらないという事情があったり、保育園内での食育になっていて、藤沢市は農家が北にあり南には漁業もありなのに、結構繋がってないと実感している。一部の園は力をいれているところもあるが全部がそうではないと思っている。

（委員）今後の取り組みの資金繰りだが、一つの園で7万円負担いただいているとあった。他の園で広げるとすると、そういう負担が保育園で可能なのかどうか感触を伺いたい。もし予定として当たってるところがあれば教えていただきたい。それから有料会員を募集するということだが難しさもあると思う。何かコンテンツとか売りがあれば教えていただきたい。

（湘南食育WAVE）保育園によって予算感の差があり出せる園と出せない園があると思う。今まで個人的に2年間やらせていただいていて予算が取れた。保育園によって食育にかける考え方が違うので、一概に出せるとは言い切れないが、意義を感じて出そうと思ってもらえるところから一つずつあたっていく流れになると思う。

会員を集めるところ。保育園事業だけだと難しいのはおっしゃる通りと思うが、保育園以外にも広域な地域の子どもたち、親御さん、その他の方が繋がる食のプロジェクトを動かしていて、その中で例えばクローズのイベントとして、参加イベントの企画会議から入ってもらうとか、食育メディアプロジェクトで、農家インタビューをして、冊子みたいなものを作りたいので、そういうものを届けることができればと思う。あと地域のお店にも賛同いただき、参加をお願いしているのだが、地域の皆様も子どもたちに何かしたいのだが、そのきっかけがないという方が多く、関わっているお店から逆に感謝の声をいただいていて、そういうお店が自分たちが何かできないから、ちょっとした会費というのは今後、現実的にあり得ると感じている。

（委員）たくさんある収益事業の一部を今回の園の事業に充てて回していくということか？

（湘南食育WAVE）そうです。保育園のところで活用させていただく。

（団体入れ替え）

③湘南太鼓研究会えの

〇湘南太鼓研究会えのから、申請事業「藤沢太鼓まつり」について、発表が行われ

た。

〇質疑応答（主な質疑応答の発言要旨）

（委員）これまで実際に和太鼓のワークショップをやったことがあるか？もしあればそのときの様子や参加者、感想や反応を教えていただきたい。

（湘南太鼓研究会えの）この団体は昨年発足したばかりで、まだそこまで手が回っていないが、他団体等でも活動経験があるメンバーが中心になっており、別団体でワークショップ経験や教育現場で活動をしたことがあり、触ると熱心にのめり込む方も多いので、自分の中の小さなインパクトが大きい音となって返ってくるのが興味深さを持っていただけてる感覚はある。練習すると大きい音が出たりリズムが揃って大きな波になるところに興味深さを覚える方もいる感覚がある。

（委員）実際どういう方が来るのか。子どもか、大人か、あるいはご高齢の方が来るのか、どういう方が関心を持って来るのかお聞きしたい。

（湘南太鼓研究会えの）自分は教育現場等でもやる経験が多く、日本太鼓協会で指導員の資格を持ってることもあり、教育現場での経験が多いのでそっちの方のイメージが強い部分はあるが、世間一般では、太鼓のワークショップでは幅広い年齢層の方が来るように思う。小学校低学年の方から保護者が一緒になってやるとか、観光地で小さい子どもと大人がやったり、おじいさん、おばあさんみたいな世代がやることもあるので、どの世代において多いかはわからない点もあるが、どの年齢にも対象になり得ると考える。

（委員）事業として継続していく上で、どういったことが必要なのかをお聞かせいただきたい。

（湘南太鼓研究会えの）事業としてはすごくシンプルなので、場所さえあればどこでも開催できる。藤沢の太鼓団体間の協力体制はあまりない。太鼓団体の交流ネットワークを作れる場として、継続するために定期的に開催するものを置くことにより、皆さんが練習して発表するものを毎年打ち出していくのはすごく大事だと考えている。

ワークショップを通して、保護者がお子様を連れてくることが一番多い。子どもと一緒に大人も楽しめる。幼稚園や他の福祉施設などにチラシを配るので、その方々が来て一緒に体験もするし、子どもたちが太鼓を打つ姿を見てもらったり、ユース世代や

大人が打ってるのを見て楽しんでいただけるイベントで、来た方が元気になるイベントになっている。

（委員）継続のためにワークショップをはじめ、いろいろ仕掛けていくという？

（湘南太鼓研究会えの）ワークショップをはじめ継続には資金が少なからず必要。今回書いた項目では、チラシ、太鼓を運ぶ車両、会場使用。消耗品でバチがあるが、バチはそう壊れないので、一度購入すればそれが継続的に使える。なので予算は次年度からは抑えられるので、継続するため出張で演奏したり、各チームが外で演奏して資金を参加費で集める可能性もあるし、ネットワークとして他団体と太鼓を一緒に練習するときに太鼓に慣れてるメンバーが多いので、ノウハウを共有しながら参加費をいただいて、次年度からの開催に充てようと思っている。

（委員）藤沢はわりとお祭りでお囃子をしており、子どもたちが小太鼓とかを見ている。小学生がドラムをお稽古として習ってたりする。小さな子たちが太鼓、日本の伝統文化に触れる土台はすごく出来ていると思う。それを上手にすくい上げるようなプログラムをぜひ作っていただきたい。期待している。

（団体入れ替え）

④湘南大道芸

〇湘南大道芸から、申請事業「ジャグリング体験会拡充事業」について、発表が行われた。

〇質疑応答（主な質疑応答の発言要旨）

（委員）既に体験活動を実施してきて、どんな方が来られているか。繰り返し来る方もいるのか、体験してどのような変化があるのかなど、今までの感触や今後の見通し、可能性はどう感じているか？

（湘南大道芸）来られるのは幼稚園生、小学生から大人の方、公園に来た子たちも来てくれている。最初のうちは単発だったが、第２土曜日が確定しているので、リピートで来てもらえる方も多くなっている。

（委員）ここは体験だが、もっとやりたいという人にはどのような対応をされているのか。

（湘南大道芸）もっとやりたいという子はおもちゃ屋さんでも道具が買えるので、買ってもらったり、大人が買って体験している。その道具を持ってきて、使い方を教えてあげたりしている。子どもより一緒に来た大人がハマる事も多い。

（委員）その流れで団体に入会するとかそういうこともあるか。

（湘南大道芸）それもある。うちのメンバーになって一緒に活動する人もいる。

（委員）道具を使うので危険を伴う場合、怪我はどういうフォローを？

（湘南大道芸）救急箱は必ず用意しており、今まで大きな怪我はない。会員が社会福祉協議会のボランティア保険に入っているので、事故があった時にはその保険が活用できる。あとイベント参加時はイベント全体に保険がかかっているので、事故があっても大丈夫な体制にはなっている。

（委員）会員が年 800 円で安いが、普通のサークルとか月 1000 円位を取るところが多いと思うが、実際にやる人が多くなって、月 1 の回数も増えて、月 2 回で 1000 円とか、道具のお金が足りない話があると思うので、会費を人が増えた場合に増やす方法もあると思うがそこはどうか？

（湘南大道芸）市に確認したが、神台公園での練習会体験会は無料でやっていいと許可はいただいており会場費はかかっていない。道具は手作りのものが多く、学校からもらった玉入れの玉や皿回しは 100 円ショップのもので作成したり、テニスボールを使ったりしているが、この道具だけは手作りできず単価も高いので、どうしてもこの道具、一番人気のある道具だが、そのために今回の補助金を使わせていただきたい。会費についても、支出がほとんど今のところ無いので、今は年間保険料分だけの会費にしている。今後はイベント参加の交通費や道具の修理のお金なども含め、会費を検討していきたいと思う。会費と体験会参加費も検討していくところである。

（委員）40 個の根拠、考え方を教えていただきたい。

（湘南大道芸）今ある 20 個がいつまで持つかわからないので、他の道具は 40 人分ある。仮に学校で呼ばれた場合、クラス人数が 30 数名なので 40 個あればいけると思

う。過去に学校に呼ばれたときには、数が少なかったので、男の子、女の子で入れ替えてやったが、全員一斉スタートの方が盛り上がるのと上手くなるので、クラスの人数分だけは確保したいと思う。

（団体入れ替え）

⑤Team F（チーム　エフ）

〇Team Fから、申請事業「ふじさわアクティブプレイヤー共創推進事業」について、発表が行われた。

〇委員との主な質疑応答（主な質疑応答の発言要旨）

（委員）既に清掃活動とコーヒーを通じたコミュニケーションの活動を始められていて、今回新たにアクティブプレイヤーのセッションを提案されている。これはまだ実施していない。ここにリストアップされている方に実際こういうことをやるという説明はされているのか。その上で反応はいかがか？

（Team F）一部やっている次第もあるが、全ての方々に話をしているわけではない。私どもとして未来志向で素晴らしい活動をされている方々だと思っているので、これ以外にも、そういった皆様との繋がりを深めていき、町全体のプラットフォームになれるようなきっかけにしたいと思っている。

（委員）現状ではここに挙がっている方たちは、こういう人たちに参加して欲しいというレベルで記載しているという理解でよいか。

（Team F）そうです。

（委員）何をもってこの事業がうまくいっているとか、成果物がこれだというのが、私はまだしみじみきていないところがあり、どうなればこの事業はうまくいっていると言えるのか教えていただきたい。

（Team F）非常に定量的に成果が示しづらい事業だと思うが、定性的にはこのトークセッションの後に関わった方々が次にこういうことをやってみようという未来志向の一歩が関わった方々に見つかることが一つの成果の指標というか、兆しなのかなと思っている。このトークセッションの背景として、別の地域でなめりかわ未来学校というのをやっていて、行政、地域産業、大学、地元起業家の協力をもって子供たちに15

年後の未来を考えてアイディアを市長に発表してもらう企画。その準備に2年ぐらいかかったのだが、その2年間でいろんなプレーヤーの人と話した。その中で重なる思いは必ず見つかってくる。1人だとやらなかったかもしれないことが、みんなの思いを重ね合わせたときに、じゃあやってみようかなという思いになってくれれば非常に成功の兆しかなと思っており、そういったところを考えている。

（委員）参加費は参加する人から徴収するのか？

（Team F）予算計画上今のところ想定はしていない。お金を払うに値する内容に仕上げる必要もあるので、仮に採択された場合、ご助言いただきながら、そういったものに値する企画を作り上げるのが良いのであれば、そうしていきたいと思う。

（委員）内容が、広く市民というよりも、考えている人が興味を持って参加しようかなと思うと思うが、そうでないと、なかなかハードルが高いのではないかと思う。ある程度わかってる人はコーヒーを飲む趣旨がわかると思うが、そうでないと、コーヒーを飲めない人もいると思うので、広く浅くというあたりが少し見えにくいかなと思うのだが、その辺は？

（Team F）まずコーヒーを飲めない方には別の飲み物もご用意したいと思っている。何かをやりたいと明確な関心がある方々を今回の想定の参加者層としているけれども、それ以外の方々については毎月開催しているCleanup＆CoffeeClubの活動の中で出会う方々もいるので、その方々にも声掛けしたり、毎月のイベントの中でも、何かの形で見つけて参加された方が、新しく街でカフェを開業しようとしている方がいたりとか、音楽をやっていた方が久しぶりにライブに一緒に出演する形ができたりとか、CCCをやっていることによって、新しい活動に踏み出す方に複数接してきて、目撃をして、その力をすごく感じているところでもあるので、そういった周辺層の方々に対しては毎月の定例的な機会に出会えていくのを楽しみにしながら活動を続けていきたいと思う。

（委員）1回のトークセッションで何か先の未来という話があるのかが疑問。毎月やっているコーヒーイベントを充実させながら、その中でいろんな活動、プレーヤーの方と繋いでそこから出てきたものに対して具体的なもので提案いただいた方がいいのかなと、少し時期尚早ではないかという印象を受けたがいかがか？

（Team F）そういう意味では、逆に今回の形でもってやらせてもらうことで、これ1回限りで終わらせるつもりもないので、リーダーズサミットのような形で地域で持続可能な活動をしている様々な分野の方々を繋いでいくフォーラムのようなことを定期的に開催する第一歩のイベントに今回なればいいと構想するところでもあった。

（Team F）コーヒーのイベントは、そこまで深く藤沢の未来をどうしたいとか、自分たちのアクションをどうしたいというところまで明確に話すわけではないので、この場の目的と性質が少し違うので、今回トライしたいというところもある。

（団体入れ替え）

⑥BOOK で食と学びのコミュニティをつくる会ー”おいしいサステナ文庫”でつながろうー

〇BOOK で食と学びのコミュニティをつくる会ー”おいしいサステナ文庫”でつながろうーから、申請事業「食育を学ぶ絵本作りワークショップ」について、発表が行われた。

〇委員との主な質疑応答（主な質疑応答の発言要旨）

（委員）常設のライブラリーの件だが、福祉施設で通所施設と思われるが、一般の方の出入り、どのくらい1日来るのか？

（BOOK で食と学びのコミュニティをつくる会）障がいのある方の一時預かり場所の中の棚を活用させていただいてることもあり、私がオープンしている日は開設日時となっていてて、週に1回程度やらせていただいている。一般の方も来ていただけるようにインスタやホームページで告知しながら進めている。そんなにたくさん毎回来るわけではないが、パラパラといらして対応しているというのがライブラリーの現状。

（委員）1人とか2人とかそういった形？

（BOOK で食と学びのコミュニティをつくる会）そうです。多いときは4、5人来る。

（委員）常設の文庫の活動と今回の絵本の活動の連動、あるいは繋がりはあるか。

（BOOK で食と学びのコミュニティをつくる会）常設のライブラリーは食のテーマで300冊位の蔵書。サステナ文庫なので古本もあり、まだまだ使える本もありでやっているが、プレイベントも含めてやった形はアーカイブ化されていくので、そういった

ものの展示会にも使うということで、このライブラリーもワークショップと連動させた重要な役割と考えている。

（委員）例えばワークショップ参加者に、文庫をもっと活用してもらいたいというような期待はあるか？

（BOOK で食と学びのコミュニティをつくる会）まだこれだという企画まではいっていないが、例えばワークショップで作った絵本を預かり文庫で見ていただけるとか、そういう特設展みたいな企画展を考えている。

（委員）プレイベントを実施されたとのことだが、どういう形で実施したのか。その際の費用はどのように確保したのか？

（BOOK で食と学びのコミュニティをつくる会）30 名、親御さんも含めて 14～15 人のエントリーで 1 人 5000 円の参加料で、イベントに参加して本を作る部材や絵本作家さんへの謝礼も含めたコスト組み立てで 1 人 5000 円を徴収した。赤字ギリギリではあったが、何とか成立するということで、広報ふじさわの発信をしてもらったこともあり、何とか集めることができたスキームになっている。

（委員）5000 円で何人ぐらいが参加したのか。

（BOOK で食と学びのコミュニティをつくる会）親御さんが一緒だったので、お金をいただいたのは 15 人ぐらい。

（委員）参加した方の感触はいかがか。5000 円は高いとか、これぐらいだったら十分満足とか。

（BOOK で食と学びのコミュニティをつくる会）少し高いかもしれない。積み上げで詰めて 3000 円ぐらいでやりたかった。でも来ていただいた。今後の展開としては、できるだけ市内の多くの子供さんを対象にいろんな方とコラボしながら、対象も幼児から小学生、会場も市内北部から南部までいろんなところで。参加費も安いものから高いもの、絵本作家さんによっては 300 円ぐらいでやってという方もいるので、そういうことも受けながらやっていきたい。参加人数規模も 10 名ぐらいから 50 名ぐらいみたいないろんな形で展開していきたいと思う。

⑦長後アクティブシニアーズ

○長後アクティブシニアーズから、申請事業「地域活動参加スタートのきっかけづくり事業」について、発表が行われた。

○委員との主な質疑応答（主な質疑応答の発言要旨）

（委員）参加者をこの事業に呼ばなければならないと思うが、どうやって声をかける、あるいは知らせるか考えはあるか？

（長後アクティブシニアーズ）自治会連合会と郷土づくりの委員をしており、構成する協議会との繋がりがあるので、そこを通すのが一番伝わりやすい。あるいは回覧板チラシを作るのも、誰に相談すれば、どう動いたらよいか大体わかるので、それを使い自分たちの活動をやる。

（委員）非常に楽しそうだなという印象。どのあたりが事業として、収益などを見込めるのか。どのあたりを事業というのか？

（長後アクティブシニアーズ）事業というのは、担い手として名乗り出る人、あるいは、自分たちが動いて主催者側に回る人を発掘したいというのが一つ。それが、結果的には地域の各種団体の担い手不足の解消に繋がると信じてスタートしている。

（委員）気持ちはすごい伝わる。これらのことは自治会連合会の中のイベントとしてできないのか？

（長後アクティブシニアーズ）それは非常にやりにくい。できないことはないが、年間行事が決まっていて予算的な裏づけがあり、年間行事通りやるのが自治会連合会なり、郷土づくり推進会議。突拍子もないこと、奇抜なことはほぼできないので、であれば自分たちで団体を作ってやろうというのが発端。

（委員）マネープランなど書かれているが、市民活動推進センターなどで様々な団体あるが、それらと協働したらどうなのかなと思うのだが？

（長後アクティブシニアーズ）それはそう。地域内でローカル的にやりたいというところもある。非常に興味があってウォッチしているので、そのようなノウハウは吸収していくつもり。

（委員）気持ちは本当に伝わる。何とか頑張ってもらいたいという思いもある。

（委員）流しそうめんと凧揚げ大会が今言われたことの解決のためにふさわしいと判断された理由、根拠は？

（長後アクティブシニアーズ）エントリーシートを作るときに具体的に挙がったのがその二つであり、本来はこの辺（パワーポイント図示）をやりたい。お父さんおかえりなさいパーティーは３年目には賀詞交換会の形式でやりたいというのがある。それができなければ、セカンドキャリアパネルディスカッション。実際数年先の先輩がこういったことをやってる人は近所にいるはずで、そういった方々から直接話を聞くのが一番面白いと思っている。それをやりたい。

（委員）流しそうめんも凧揚げも子どもたちは来たいと思うだろうが、家にいる 60 代の方が凧揚げやるから行こうとなるのかというとそうは思えないが。

（長後アクティブシニアーズ）昔子供の頃したからやろうよという人も中には当然いて、実際来るのはおじさんばっかりかもしれない。やってみないとわからない。

（団体入れ替え）

⑧おとあそび楽団

〇おとあそび楽団から、申請事業「おとあそび楽団」について、発表が行われた。

〇委員との主な質疑応答（主な質疑応答の発言要旨）

（委員）コンサートの開催が基本藤沢南部だと思うが、いろいろな地域、北部エリアにも足を運ぶ時期とかイメージがあれば教えていただきたい。

（おとあそび楽団）秋に藤沢市内の市民センターを巡るツアーのような形をとりたいと話をしていて、鵠沼の方ではライブをしたことがあるが、湘南台の方にはまだ行ったことがなく、個人の活動で長後市民センターでイベントをしたことがあり、そういうところにも「おとあそび楽団」で回っていきたいと考えている。

（委員）会員は３名とあるが、今後メンバー増やす予定とかあるか。あとプログラムの中でどういう楽器や物を使われているのか？

（おとあそび楽団）メンバーはサックスとボーカルの 2 人のやりたい世界観を表現していこうという活動なので、増えていくのは今のところ考えていないが、コード楽器や打楽器、リズム楽器がいないのでサポートメンバーに依頼して、ライブのときは一緒に演奏するという形をとっており、今までやったのがピアノとパーカッションが入る編成のみなので、今後はドラムやベースとか、普段テレビで見るような編成での活動もできたらいいと思っている。

（委員）既にやっているということだが、コンサートといってもただ聞くだけでなく、ワークショップなので参加型だと思うが、参加した人の感想や変化、あるいは実際やっていて感じていることがあれば教えてほしい。

（おとあそび楽団）最初の主催イベントのときは小学生低学年から幼稚園の割と小さめの子が多く参加してくれたので、選ぶ絵本もいろんなパターンを用意していたが、絵本が長いと飽きてしまう感じがあったので、参加した子たちの年齢に合わせて手札を多くしていけるようにしたいのと、親御さんの印象が良かったので、家族みんなで、もっとおじいちゃんおばあちゃんたちも楽しめる会にしていきたいと思っている。

（委員）学校だと子どもしかいないので、地域に開かれたところでやっていく事に意味があるということか？

（おとあそび楽団）いずれは自分たちで野外イベントを企画していくのも考えている。私自身が T-SITE でイベントを行ったことがあり、その繋がりも使って開かれた場所でやりたいと思っている。

（委員）中学生や高校生ぐらいだと興味を持った人が、一緒にやりたいと思ってくれるとよい。

（おとあそび楽団）中学の吹奏楽部や軽音楽部の子たちと一緒にできたら楽しいと思う。

（委員）地域に音楽を楽しめる人たちが増える活動で嬉しい。クリスマス会で、紙芝居を自作でされたとの説明だったが、紙芝居は誰がどのような形で作ったのか？

（おとあそび楽団）イラスト・絵もサックスの者が全部書いており、今回の（パワーポイント）「おとあそび楽団」も全部書いていて、私は物語を担当して紙にカラーコピーして自分たちで型紙に貼り付けて紙芝居のセットは購入してやった。

（団体入れ替え）

⑨藤沢市せっけん推進協議会

〇藤沢市せっけん推進協議会から、申請事業「せっけんでまち洗い」について、発表が行われた。

〇委員との主な質疑応答（主な質疑応答の発言要旨）

（委員）日本橋のまち洗いはせっけんを使って橋を洗っている？

（藤沢市せっけん推進協議会）せっけんの洗浄剤を使っている。

（委員）せっけんを使うことで橋は水で洗うより遥かに綺麗になるのか？

（藤沢市せっけん推進協議会）遥かに綺麗になる。

（委員）道路も？

（藤沢市せっけん推進協議会）最後に放水すると、驚くような美しさで橋が出て皆さん歓声する。しかも素手でやっている。せっけんは素手で洗っても、手肌が荒れない。それが第一。皆さんの目にとまり、せっけんの良さがわかる。

（委員）長年活動を地道に取り組んでこられているのは大変なことだと思うが、今回ステップアップの補助金を応募されて、ステップアップのポイントは端的に言ってどういうことか？

（藤沢市せっけん推進協議会）長い間せっけん推進をやってきた。藤沢市が市民とともに疑わしきは使用せずということが始まり、長いが、なかなか市民全体にせっけんのよさ、安全性が伝わらない。それで外に出て、自分たちの町の橋を洗って、それを実感してもらう。学習会その他は学校や公民館でやったが、地道にきちんと仕事をしてきたつもりだがなかなか外に伝わりにくい。思い切って外に出てみようということ。せっけん祭りというのもやっている。

（委員）今までは施設の中でやっていたが、みんなが通る往来で目につくようにやっ

てみたいということか？

（藤沢市せっけん推進協議会）橋洗いはそこの場所にはなるが、そこを通りかかる人であったり、なるべく多数の方に見ていただくのが啓発活動になると思う。

（委員）まち洗いで、日本橋のときには東京消防庁の協力があり散水されたとか。そういうところがニュース性にもなると思うと、藤沢で行う場合には他団体や市、そういったところの協力というところはお考えか？

（藤沢市せっけん推進協議会）せっけんの講演会やせっけん祭りでは、藤沢市の共催を得たり、後援を得たりしている。今回の話が決まったら市にお願いをしてどこでどう協力できるか話し合っていきたいと思う。藤沢市の消防団が最後に放水していただけたら、その効果がわかると思う。水は流れて行ってどうなるかということだが、せっけんはもしも海に流れても生物には影響ない。実際は橋を洗ってもその水は経路を通って下水の方に行くことにはなるけれども、安全性も皆さんに伝えられると思う。

（委員）長年の活動に頭が下がる思い。せっけんは人にも環境にも優しいことが頭ではわかっているが、なかなか身近に感じたり、使い勝手が悪い時代になってきていると思う。だからせっけんの良さだけでなく、せっけんを使うというような、もう一歩進めた活動もしていただきたいと思う。これは希望。

もうひとつは、せっけんでまち洗いの PR はどのような形でして、また、初めから何名と決めて何名かを確保して、その上で通りを通る方を引き入れるのか、やり方をお聞きしたい。

（藤沢市せっけん推進協議会）通りがかりの人にも参加いただけるというのは必要なものがない。素手で洗っていいと言うと、束子を渡して磨いていただくだけでもう参加。せっけんの汚れ落としは広報誌で出しているが、実際に大勢に PR できてなかったのでこれに期待をしている。

（藤沢市せっけん推進協議会）広報の面では市と連携したりとか、市のイベントなどにも出させていただくので、そういったところで話していければと思う。

（委員）市の物を洗うので市民のプライドにも繋がる活動になると思うので、期待し

ている。

（団体入れ替え）

⑩湘南とアジアの若者による未来創造事業実行委員会

〇湘南とアジアの若者による未来創造事業実行委員会から、申請事業「SDGs2 国の青年交流フォーラム」について、発表が行われた。

〇委員との主な質疑応答（主な質疑応答の発言要旨）

（委員）申請書の執行体制の方に（発表者の）名前はないようだが、お二人の団体での役割や何か役職があれば教えてほしい。

（湘南とアジアの若者による未来創造事業実行委員会）私は大学生のときに文化の紹介のプログラムで参加して、次の年に平和プログラムが始まり参加者として参加した。そこからボランティアとして活動に参加した。

（湘南とアジアの若者による未来創造事業実行委員会）私も同じく 2024 年の参加者となった。現在は日本で働き参加したが、団体の責任者や団体の委員として参加している。

（委員）何の責任者なのか？

（湘南とアジアの若者による未来創造事業実行委員会）絵本プログラムの翻訳。日本語からインドネシア語に訳す責任者。

（委員）藤沢の中学生等と直接交流されたと思うがどのような印象をお持ちか？

（湘南とアジアの若者による未来創造事業実行委員会）今まで交流していた藤沢市の中学生たちはすごく元気で、インドネシアについても興味を持っていただき、お会いして嬉しく思う。

（委員）中学生と交流することで得たもの、気づきをインドネシアでお話しすると思うがどのような内容で伝えるのか？

（湘南とアジアの若者による未来創造事業実行委員会）私も大学に入るまでは人との交流もあまりなく、外国の方とはあまり交流してないので、藤沢市の中学生たちと交流したので、今回はインドネシアにいる学生にも交流を経験していただけたらと思う

ので、去年も藤沢市の中学生を２人インドネシアに連れて行きインドネシアの大学生たちと交流したので、今回もそのイベントを続けていきたいと思う。

（委員）お２人はボランティアスタッフとして活動に関わっていて今年度も関わる予定だと思うが、お２人のようなこの活動のOBOGでありボランティアに関わってる人がどれぐらい他におられるのか。また、日本側で同じように関わってるボランティアがどれぐらいおられるのか？

（湘南とアジアの若者による未来創造事業実行委員会）インドネシア側からだと、日本で留学していて２人ぐらい。でも神奈川県にいないのでプログラムがあるときだけで来てもらった。日本側からは私が知っている間には３人ぐらいいて、インドネシアの大学生たちが東京に行った時は、東京散策などガイドしてもらい、イベントも手伝ってもらうことになる。

（委員）昨年も中学でやられたと申請にも書いてあるが、今年もどこかの中学でやる予定があるのか。その場合にどのような交渉、どのような形で申し込んでいるのか？

（湘南とアジアの若者による未来創造事業実行委員会）毎年村岡中学校と協力をしてもらってて、多分今年も村岡中学の家庭部の学生たちに協力してもらい、その交渉は代表が直接学校の先生に聞いてもらって協力してもらった。

〇プレゼンテーションが終了し、事務局から団体退出の案内が行われた。

（団体退室）

（２）審査選考

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

審査選考

（藤沢市情報公開条例第６条第３号に基づき非公開）

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

〇ミライカナエル活動サポート事業スタート支援コース・ステップアップ支援コースの審査選考において、スタート支援コースの採択団体は、nico川名、湘南太鼓研究会えの、湘南大道芸、おとあそび楽団、ステップアップ支援コースの採択団体は、藤沢市せっけん推進協議会と決定された。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

その他

〇事務局から、次回の委員会の開催日時等について連絡があった。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

〇閉会

―終了―